

# 新風

平成26年2月28日  
多治見市立陶都中学校  
No.15

## 3月を迎えるにあたって

教 頭

いよいよ3月を迎えます。陶都中学校では、前期の「つながり」から後期の「響き合い」を追求しながら年度末を迎えようとしています。この実現に向けて、生徒会や委員会、各学年・学級が、様々な工夫や取り組みをしながら、「陶都中の4本柱であるあいさつ、掃除、合唱、よさ見つけ」を各種の活動で達成を目指して取り組んできました。

これらの取り組みは、学校としての大きな目標を達成するためであると同時に、1年生は「先輩と呼ばれる自分」、2年生は「最高学年になる自分」、3年生は「進路先で通用する自分」になることを目指したものでもあります。また、各学級がそれぞれ掲げている学級目標を達成することにもつながることです。今月、登校を要する日数は、僅かになります。来る4月に良いスタートを切るためには、今一度「自分や仲間の今の姿」を見つめることが大切です。真摯に振り返り、不足している点や至らない点を確認し、少しでもあるべき姿に近付いた上で、新年度を迎えられるよう指導・助言していきます。各学年の目標として欲しい姿を以下に掲げます。ご家庭でも話題にさせていただきようお願いします。

### 【1年生：先輩と呼ばれる自分をつくりあげる！】

- ・慣れに負けないで、「3月末までにはここまで自分を高めよう」という目標をもつ。
- ・先輩として、お手本となる自分づくりをする。
- ・家庭での学習が、言われなくてもできるようにする。

### 【2年生：最高学年になる自分をつくりあげる！】

- ・将来の進路を考え、「3月末までの到達目標」を明確にして、宣言できるようにする。
- ・3年生を超える実績を創り出すための具体的な取り組みをスタートする。
- ・特定の教科に対する苦手意識を克服するための努力を継続する。

### 【3年生：進路先で通用する自分づくり！】

- ・目標（自分の進路）に向かって前進（努力）あるのみ
- ・陶都中学校の新たな伝統づくり、いつまでも大切にしたい仲間づくり
- ・インフルエンザ予防などの健康管理

子どもたちの中で「自分の思いを伝える」「我慢する」こと

多治見市教育委員会

親子が育つ多治見の家庭教育「親育ち4・3・6・3たじみプラン」にかかわって、公民館や児童館・児童センターへ出かけて、親子のふれあい講座などでの様子を見せていただいた時のことです。初めのうちはそれぞれの親子で別々に活動している。そして、親が他の親とかかわることで、かかわりの輪ができる。しばらく後に、親のひざにかかえられていた子が動き始め、周りのおもちゃや遊具で遊び始める。やがて、子ども同士で同一の遊具などで順番を競ったり、一緒に遊んだりし始める。その後、子ども同士で順番を競う中で、自分の思いを伝えたり、我慢したりすることを始めていました。

幼児の時はもちろん、小・中学生も同級生や年齢の違う子ども同士でのかかわりが、その子の社会性の基礎となります。そして、親同士がつながり、かかわりあうことが子どもたちにとって良い見本となります。